

昨年の第七回大會は早速報告をたしかつた水島に近接した福岡に於て開催した。此の事は早急に窮迫せる米組職農民の被褥と更らに日産に組織されてゐる農民大衆の間に幹部に對する不平等感が激化されてゐたため日産組合員の被褥を目標とするものであつた。

然しながら本部常任の手不足に伴ふ組織活動不充分さは豫期するが如き充分の効果を収めることが出来なかつた。第七回大會後組織された支部は次の如くである。

福岡地區

- 老司支部、大岡支部、古森支部、平尾支部、
- 別府支部、糸島郡深江支部、
- 筑紫地盤
- 牛久木支部、下白水支部、長岡支部

三養基地區

- 水産支部、小倉支部、袖比支部

地區の確立

一月五日福岡、年長に於ける支部懇親會が松岡支部にて開催され、福岡年長地區委員會が確立するに至り朝倉等の訴訟に際しても絶へず建設闘争に起ち、激化されつつある。

二、學 務 一 般

イ、十一月二十七日三養基郡基山村に於て小作米穀免演説會を開催

ロ、農民食糧一箇年五割禁止法被褥者名運動を起す

ハ、二月二十日組合懇親會出席者一二四名

ニ、四月一日農會總代選舉闘争に各支部から選出して成果を収めた